

すぎのこ



幼稚園認定こども園
尚綱大学附属こども園

楽しい思い出が生きる力につながる

台風十号が上陸し、南九州をはじめ大きな被害が出ています。保護者の皆様のおうちはいかがだったでしょうか。園では幸いなことに水があふれかえることもなく飛び散るものもなく、目立った被害もありませんでした。ひとえに先日

さて、夏休みが終わりました。特に前半は夕立も来ずに猛暑の毎日でした。お子様や保護者の皆様は体調はいかがだったでしょうか。私の子どものころの夏休みは、朝六時半(だったような)に隣の公園でラジオ体操をしていました。

令和6年度「すぎのこ」第5号

や片付け、溝さらいなどしていただいていたおかげです。ご協力本当にありがとうございました。無事、始業式を迎えられます。



あ頃は、ラジオ体操は必須でした。いったん家に帰り、宿題をちょこつしたり、したふりをして、時計とにらめっこ。十時の時報と同時に外に出て(少しでもフライングしたら友達から注意されていました)公園で遊ぶのが日課でした。チリンと鈴の音を鳴らして売りに来るかき氷屋さんや学校のプール開放が楽しみでした。楽しかった夏の思い出はいつまでも心に残るものですね。これを書きながらも幸せな気持ちになってきました。きっと園児たちも夏でしかできない貴重な経験を積まれたことでしょう。

ドイツのある心理学者が子どもの記憶について研究しているそうです。それによると、大体三歳〜四歳頃からだそうです。個人差はありますが、三歳以前の乳

幼児期の記憶は脳の発達と共に自然に消えてしまう傾向にあります。物が心がつく三歳頃からはしっかりと覚えていくのです。そして、成長して大人になっても楽しい記憶は残ります。楽しい思い出が多ければ多いほど、子どもが将来困難に会った時に生きる力となって助けてくれるはず。園でも夏だからこそ体験活動がありました。年長さんは七月三



○日に本園ならでは「夏の夜の森の遊び」を行いました。園舎西側の「ためきの森」で夜、親子で昆虫探しをしていただきました。日ごろ生活している園の夜の姿にわくわくドキドキした

ことだと思えます。きつといつまでも心に残ることでしょう。

二学期は、日常の活動以外にも、運動会をはじめ親と子の集い、芋ほり、栗拾いや野菜の収穫、焼きも、お楽しみ子ども会(クリスマス)、などたくさん行事や季節ならではの活動があります。これらを通して、心に残る楽しい思い出をたくさん作ってほしいと願っています。

そして、「園生活がこれだけ楽しくなったんだ。学校での生活も社会人になつてからもきつと楽しいことが待っているにちがいない」と前向きな気持ちで過ごすことのできる態度が育まれていければと思います。私たち職員も園児とともに楽しい毎日を送れるよう頑張つてまいります。

SNS時間が長いと 正答率低下

七月三〇

日の朝日新聞に、今年度の全国学力調査と同様に実施されたアンケートについて

ありました。

SNSや動画に費やす時間が二年前より延びていることが明らかになり、中三では三人に一人が三時間以上という結果になったそうです。さらにこれらの時間が長くなると学力調査の平均正答率が低くなる傾向も見られたそうです。ですが一時間未満であれば携帯やスマホを持っていないグループより多少良い結果が出ていました。

何でも、「ほどほど」が大事なのだなど読みながら思いました。そして、携帯やスマホがなくても、楽しいことがたくさんあったり楽しいことを作り出せる経験があったりすれば、SNSの時間も楽しいことの一つ程度になり、「ほどほど」になっていくのだらうと思えました。楽しい自然体験や友達と遊んだ思い出やはり大事ですね。

<夏の園の一コマ>



ピーマン、大きくなっていたね



自動販売機を作ったよ